



野市東クラブ【バレーボール】の男子が全国大会、女子が四国大会出場を決めました。おめでとう！

ひ：人や生き物、持ち物を大切にし  
が：頑張り（目標に向かって）  
し：幸せになる野市東小（みんなが）

香南市立野市東小学校  
所在地 香南市野市町中ノ村770  
電話 0887-54-2622

## 梅雨の晴れ間のうちに、泳ぐぞね

梅雨の晴れ間、水泳授業真っ盛りです。気温水温ともに程よい状態になり、子どもたちは力を抜いて浮いたり、美しく泳いだりと、安全に楽しく授業に参加しています。

水泳上達の基本は、水への恐怖心をなくすことです。子どもが水嫌いになる理由として、

- ①目や鼻、耳に水が入って不快な思いをした
- ②プールの水が冷たすぎた（お風呂が熱すぎた）
- ③お風呂やプールで溺れかけた
- ④海や川は怖い（大波・大水を見た）など

があります。そこで、対処法の一部を紹介します。

①については、まずはゴーグルを付けること。目に水が入る違和感が嫌な子どもは多くいます。ゴーグルを付ければ、違和感もなく視界スッキリで、安心感も得られます。ドライアイ防止にもなりますので、ゴーグルについては積極的に使用させてください。なお、水の中で目を開けられないお子さんは、お風呂(40℃弱)の中で開けると痛みもなく開けられます。ただし、長時間することはドライアイ防止のため避けましょう。

また、鼻に水が入るのが嫌なお子さんは、大人も含めほぼ全員です。水泳は鼻から息を出し、口で空気を吸いながら泳ぎます。低学年のお子さんがある家庭は、保護者と一緒に「ブクブク、パッ」の練習を、お風呂でよろしくお願ひします。耳に水が入るのを嫌がるお子さんは、耳栓を付けるようにお願ひします。

②については、水温・気温ともに、少しずつ上がっていきますので、これからもっと泳ぎやすく(泳ぎたく)なってくると思います。

③④については、授業の中で、肺にしっかり空気を吸い込んで、力を抜いて浮いたり、ゆったり泳いだりすることを低学年の頃から学んでいきます。水への恐怖心を少しずつなくしていければと思います。しかしながら、水の怖さも忘れてはいけません。津波や洪水などへの対応や、着衣泳などの防災学習も大切にしていまひます。

## 教員研修【特別支援+ICT活用】をしました

6月15日(木)の午後、高知大学教育学部教授の是永かな子先生をお招きし、各学級の児童の様子を見取っていただき、児童に対する指導や支援の在り方について、様々なご示唆をいただきました。是永先生も、禁止系の注意ばかりでなく肯定系の言葉に代えて伝えたり、結果ではなく過程を褒めたりすることが大事だと言われていました。11月にも、講師としてお呼びしていますので、児童の変容した姿を見ていただけるよう取り組みます。

また、19日(月)の午後は、東部教育事務所の浦田泰良・上村詩織指導主事を講師として、「東部教志塾 ICT 講座A」を実施しました。タブレットPCの「Classroom」使った復習や演習を行い、各教科等で活用できるヒントをたくさんいただきました。今後は、常に教師側がタブレットPCを使う場や時間をお膳立てするのではなく、子どもの意志や用途で使ったり、復習(学力の定着)だけでなく予習で使ったりすることが求められています。個別最適・学習の個性化を図るために、学校だけではなく、家庭でもWi-Fi環境の整備は必須です。子育て支援の給付金の一部に、家庭のWi-Fi整備補助金も入れてもらいたいものです。

-----< 切り取り線 >-----

※ご意見・ご感想をお願いします。( )年( )組 保護者氏名( )